

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-011  
 担当 澤山  
 内線等 448

PDCA	事務事業名	公園整備・改修事業	部課等名	建設部 都市計画課 公園 緑地担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第3節 うるおい空間の形成 基本施策： 1. 公園・緑化・親水空間 単位施策： (1) 公園・緑地の整備 個別施策： ②既設公園の改修					
	根拠法令等	都市公園法					
	対象・目的	公園緑地において、利用者が安全かつ快適に利用できるように、公園施設の整備・改修を行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	【公園等整備工事】 29年度：潮風の丘緑地(駐車場整備) 30年度：展望台撤去工事(乙川白山公園の展望台老朽化の為、撤去) 元年度：任坊山公園(ちゃぶちゃぶ池改修) 【遊具改修】 29年度：池下公園始め21公園に28基改修 30年度：みなと公園始め23公園に28基改修 元年度：にぎり池公園始め18公園に27基改修					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		遊具の改修工事実施数	28	28	27	基	
		事業費	60,694	50,732	46,652	千円	
		人件費	3,807	8,120	8,073	千円	
		総事業費	64,501	58,852	54,725	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	1基当たりの改修費用	906	988	1,082	千円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		遊具の改修工事実施数	実績値	28	28	27	件
			目標値	28	28	27	
		実績値					
		目標値					
	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	B 任坊山公園については、老朽化した東屋とちゃぶちゃぶ池の改修を実施した。ちゃぶちゃぶ池の改修では、池底をゴムチップ舗装とし子供たちが安全に利用できるように配慮した。また、遊具改修については、遊具の選定の際、アンケート調査を行い利用者である地域の子供たちの意見を反映することができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進 遊具について、引き続き点検結果に基づく計画的な改修を進め、利用者の安全確保に努める。また、利用者が快適に利用できるように、トイレ等の公園施設の改修を進めていく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		遊具の改修工事実施数	14	基			
		トイレの改修工事実施数	3	基			